

おしらせ(その冊)

NEA Specialist Meeting の案内

表記の会合について大要下記のような Preliminary Announcement が来ております。

場 所: BCMN, Geel, Belgium

仮の日取り: 1977年12月第2週

目 的: structural materials (Cr, Fe, Ni) の fast-neutron capture, (n, α) および (n, n') 反応についての新しい測定と評価がこの2~3年来行われており、微視的断面積、積分測定、およびベンチマーク実験について有意義な比較が出来るに十分な材料が1977年末までに入手出来るものと期待される。この会合では、困難のある分野(特に核工学において)を明確にし将来の中性子データ活動に対する勧告を出すことを試みる。

仮プログラム

A. Contributed papers

1. Introduction

User aspects : data needs for applications

2. Measured cross sections

(n, γ) cross sections

(n, p) cross sections

(n, α) cross sections

(n, n') cross sections

3. Evaluation and relevant reaction theory

4. Inference from integral measurements and benchmark experiments

B. Working groups

1. (n, γ) cross sections, experiment and evaluation

2. (n, p) and (n, α) cross sections, experiment and evaluation

3. Integral data and applied needs

会合への参加: 参加者については追って NEANDC および NEACRP のメンバー(すなわち原研 塚田甲子男氏および弘田実弥氏)から NEANDC/NEACRP Secretariat へ推薦を送ることになりますが、目下のところ、上記メンバーは会合のプログラム一般および自国からの寄与について意見を送ることが要請されております。

なお、上記会合のプログラム委員会委員長 Dr. F. Fröhner から日本からの出席と寄与を希望するテレックスが塚田氏宛に来ております。それによると、10月14日のプログラム最終決定日までは変更が可能だが、なるべく早く出席者などを知りたいとのことであります。

以上のようにありますので、上記会合に出席あるいは論文のみ提出などの予定のある方は、なるべく早く 原研 塚田 甲子男氏、弘田 実弥氏あるいは原子核データ室に御連絡下さい。